

# Europe Indicators

発表日: 2021年3月9日(火)

## 欧州経済指標コメント: 10-12月期ユーロ圏GDP

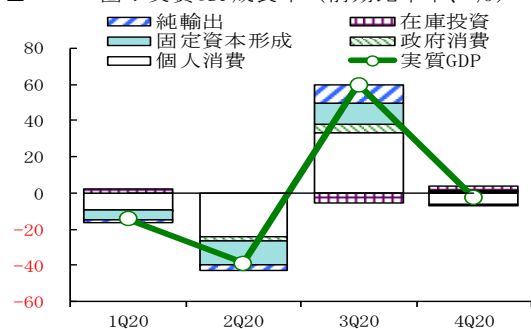
～第二波での経済活動停止は限定的～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

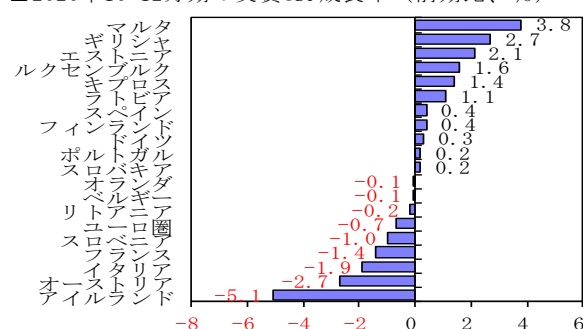
- 昨年10-12月期のユーロ圏の実質GDP成長率の改訂値は前期比▲0.7%、同年率▲2.6%と、二次速報値の同▲0.6%、同年率▲2.4%から僅かに下方修正された（一次速報値は同▲0.7%、同年率▲2.8%）。改定値では過去2四半期が僅かに上方修正されたが、7-9月期の大幅反発（同+12.5%、同年率+59.9%）からのマイナス成長再転落という姿は不変。
- 国別には、イタリア（同▲1.9%）、フランス（同▲1.4%）、オランダ（同▲0.1%）、ベルギー（同▲0.2%）など8ヶ国がマイナス成長となった一方、ドイツ（同+0.3%）、スペイン（同+0.4%）、ポルトガル（同+0.2%）など11ヶ国が前期の高成長後もプラス成長を維持した。
- 新たに公表された需要項目別の内訳は、一部の国の都市封鎖再開を受けて個人消費（7-9月期：同+14.1%→10-12月期：同▲3.0%）がマイナスに再転落した一方、政府消費（同+4.6%→同+0.4%）、固定資本形成（同+13.9%→同+1.6%）、輸出（同+16.7%→同+3.5%）、輸入（同+11.8%→同+4.1%）がプラスを維持。在庫寄与度が前期の大幅マイナスから小幅プラスに転換した一方、輸入が輸出の伸びを上回ったことから、外需寄与度が前期の大幅プラスから小幅マイナスに転換した。昨年春の第一波時と比べて、都市封鎖による経済活動停止が部分的だったうえ、海外景気の回復を受けた製造業活動の持ち直しが景気を下支えた。

■ユーロ圏：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：Eurostat

■2020年10-12月期の実質GDP成長率（前期比、%）



出所：Eurostat

■ユーロ圏GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
19/1-3月期	3.4	1.9	(▲ 1.8)	2.4	2.5	▲ 8.7	(▲ 1.6)	3.8	4.4	▲ 3.4
19/4-6月期	2.6	0.8	(6.4)	0.7	1.5	29.9	(0.2)	▲ 5.7	0.6	14.2
19/7-9月期	2.5	0.9	(▲ 4.8)	1.4	2.8	▲ 20.3	(▲ 1.0)	5.6	2.9	▲ 8.6
19/10-12月期	2.2	0.4	(4.7)	0.4	1.2	27.1	(▲ 0.9)	▲ 4.4	▲ 0.8	9.3
20/1-3月期	▲ 12.7	▲ 14.2	(▲ 12.3)	▲ 16.8	▲ 1.1	▲ 21.7	(2.1)	▲ 1.9	▲ 14.1	▲ 11.3
20/4-6月期	▲ 36.5	▲ 38.8	(▲ 35.5)	▲ 41.6	▲ 8.4	▲ 50.5	(▲ 0.0)	▲ 3.4	▲ 56.6	▲ 55.1
20/7-9月期	60.5	59.9	(49.5)	69.5	19.9	68.3	(▲ 5.8)	10.4	85.4	56.1
20/10-12月期	▲ 2.2	▲ 2.6	(▲ 2.3)	▲ 11.5	1.7	6.4	(2.5)	▲ 0.3	14.9	17.4

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

